

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り



平成27年9月30日 (NO.64)

浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

また、10月24日に開催される「第2回浦幌町教育の日実践交流会」について審議し、「うらほろリレー家読」の取組発表、池田高等学校吹奏楽部と浦幌中学校吹奏楽部とのコラボレーションを行うことなどについて決定しました。

浦幌学園合同研修会

■9月25日、浦幌学園(平岡学園長)では、第2回小中合同研修会を開催しました。小泉伸二教諭による5学年算数「分数のたし算」の授業が行われ、自主性を育む待ちの姿勢で、児童から多様な考え方を引き出していました。

1単位時間において、終末段階での課題と正対したまとめの確認、小テスト等を活用した評価、家庭学習との連動など、大切な事柄を提起していただきました。

■児童生徒の主体的・協働的な学習姿勢が求められている折、9年間を見通した教科の系統性や学習規律等について、小中の先生方が話し合うことには大きな意義がありました。



小泉先生の授業

浦幌町小中一貫CS委員会

9月4日、全町的な小中一貫CS委員会(林常行会長)が開かれ、2学期の推進計画について協議されました。各委員からは、性急にCSの成果を求めるのではなく、地道に活動の輪を広げていくことが話し合われました。



木幡准教授の指導

■授業交流後、慶応義塾大学大学院の木幡敬史准教授の指導により、教職員を対象とした浦幌学園アクションプラン作成の熟議を行いました。

次の4つの子ども像に整理したものを部会ごとに熱心に協議しました。

- ①自ら考える人(学習指導部)
- ②思いやりのある人(生徒指導部)
- ③たくましい人(生徒指導部)
- ④未来を拓く人(うらスタ部)
(キャリア教育、ふるさと教育)



部会ごとに熟議